

# キリスト教保育

江村和彦  
特集 最終回  
粘土あそび

小論  
学ぶ・教える・気遣う  
赤ちゃん  
橋彌和秀

年主題  
**つながって**  
～今、わたしを生きる～

子どもの祈り



2022 SEPT. 9

この大祭司は、わたしたちの弱さを思いやることのできないようなかたではない。罪は犯されなかつたが、すべてのことについて、わたしたちと同じように試練に会われたのである。

口語訳聖書・ヘブル人への手紙4章15

「気配り」とは元来「不都合・失敗がないように、あれこれと気をつけること。相手を思いやって気をつけること。心くばり。配慮。」で自分中心的ですが、「思いやり」は「人の身をおしはかって同情する」で己を空しくして他者に「思い」を「遣る」ことなのです。

「思いやり」何と美しい言葉でしょうか。今月の聖句には、主イエスこそ「思いやり」ことのできる大祭司と記されています。大祭司は神と人との間に立つ仲保者として、人々に神のご臨在とみ旨を示し、人を神のみ前に導き執り成す人です。

憂いを知る人が優しいと書くように、キリストご自身、神と等しい栄光の座から下って苦難の僕となつて下さり（フィリピの信徒への手紙2章）、私たちの味わう苦難も試練も味わい尽くして下さったのです。最後はご自分の命までもお与えに下さったイエスは、甦り今も生きて思いやり、執り成して下さるのです。

主の思いやりに慰め励まされて、私たちは保育の業を続けることができ、生来自己中心的でありながら私たちにも思いやることのできる者へと導かれていくのではないでしょうか。

平井信義先生は『母のひかり』（6月号）に「40数年にわたつて子どもに体当たりする中で、子どもの<sup>往</sup>研究を続けてきた私は、子どもに『意欲』と『思いやり』を育てれば、必ず立派な青年になる」という結論に達しました。しかもそうした人格形成の基盤は、乳幼児期にでき上ることもわかりました」と書いておられます。

私は「思いやり」は幼子自身「思いやり」を受ける体験の中で養われるよう思います。私共の園でもお見舞いを受けた子どもは「花の日」訪問には真っ先に花束をもつて登園してきます。また訪問先で患者さんやお医者さん、看護師さんに喜んでもらうと、「思いやり」を与える経験を通して優しさはその子どもの性質の一部になっていくようです。

「思いやり」が「思いやり」を育てるものです。そして、この心は乳幼児期が鍵を握っています。

吉井秀夫・執筆 当時・鹿屋キリスト教会牧師 信愛幼稚園園長  
1987年『キリスト教保育』誌8月号より

一部省略、要約しております。新共同訳聖書では、ヘブライ人への手紙4:15です。

注) 本文中の『母のひかり』は、名称を変え現在は「ともに育つ」紙として毎月発行されています。

# キリスト教保育

第642号9月号



年主題

## つながって

～今、わたしを生きる～

幼子とともにキリストへ  
目次

〈巻頭言〉 ダイバーシティ&インクルージョン

「ちがい」を楽しんで 茅和子

〈論説〉 幼児の運動あそびおよび

外あそびの重要性 石井浩子

〈小論〉 学ぶ・教える・気遣う 赤ちゃん 橋彌和秀

子どもの祈り

聖書にきく・お話 篠田真紀子

24 23 14 6 4 3 2

目福口福耳福 村田浩子  
（連載）キリスト教保育Q & A 塩谷直也

（連載）粘土あそび 江村和彦

礼拝のお話 石嶺英子

風 伊藤みどり 編集子 星野牧

連盟だより

表紙絵  
カット

田中楓子 長野祥三 長繩えいこ  
中畠治子 松成真理子 金井ユリ

3・4・5歳児 聖三一幼稚園  
実践からの学び 菅原一創

9月 月のねがい表  
心にとめて 高梨美紀  
0・1・2歳児 ひかりの子  
実践からの学び 布村志保  
絵本のとびら 國尾雪  
心にとめて 田中洋子

46 40 38 37 36 30 28 27

塙谷直也

64 63 55 50 48 47

